浅野和男

過去の一般質問に対する答弁の進捗状況の検証(職員人事)

問 ①職員の超過勤務手当は増大傾向だが、23年度末の時間数と金額及び減少対策は。②退職後の継続的に採用される再任用職員の人数と人件費総額は幾らか。

答 ①被災地派遣を除き、4万3978時間、約1億1022万円。事務改善や人員の見直しも含め検討。②平成24年4月1日現在32名。平成23年度約1億1130万円。

過去の一般質問に対する答弁の進捗状況の検証(人事以外)

問 ①学校給食の食材費市内購買比率は低水準である。市内業者の育成を積極的に進めるか。②市内には町内会のない地域が多くある。町内会を網羅することに賛同するか。

答 ①市内業者の育成の観点からも、価格面や納品時間など理解を得て、発注を進めていきたい。②未整備地区の解消に向けて、今後も努力する。

緊急雇用創出事業のため、都からの補助金の有効活用について

問 補助金は、狛江市民の雇用の増大に資するのが望ましいが、現状は大半が他の市町村の雇用にも使途されている側面がある。行政の見解は。

答 狛江市の特性である行政規模の小ささから市の事業のすべてを市内の事業所で対応するのは困難。一定程度は市外の事業者等に依存する。

小川克美

前市政で滞っていた行財政改革の推進について

問 ①一部の公立保育園の民営化計画と、②特別会計の健全化計画は早急に取り組むべきと考えるが。

答 ①なるべく早い段階で道筋をつける。②今年度末を目途に策定していく。

近隣自治体との連携について

問 近隣区市で狛江市民が利用できる図書館とその登録人数は。

答 平成23年度末で調布市立図書館、3328人、川崎市立図書館、295人の市民が利用登録をしている。

狛江の地域資源活用について

問 ①バーベキュー禁止後の多摩川の利活用を早急に検討するべき。②市史編さん事業の今後の方針と工程は。

答 ①多くの人々が地域交流ができるように多摩川関連問題第四次報告書で取りまとめていく。②年度内に市史編さん基本方針の答申案を作成し、パブリックコメントを行う予定。

石井功

就任後の市長の政治活動について

問 ①7月13日に川崎市長とあるが何か考えがあっての訪問か。②7月24日には小田急電鉄の社長を訪問しているがその内容について。

答 ①防災上の協力や多摩川を活用した連携事業の意見交換。②駅での市の事業の周知の協力、小田急OXでの市民への還元事業実施の要請など。

狛江市の緑確保について

問 ①緑被率の定義はどのようなものか。②現在の狛江市の緑被率は何%で、近隣自治体(調布市、稲城市、三鷹市、府中市)と比較した場合は。

答 ①樹木被覆地、公園・道路等の敷地内にある草地、農地等を確認した率。②狛江市は26・05%、調布市32%、稲城市56・70%、三鷹市33・46%、府中市29・08%。

鈴木えつお

清潔公正、市民が主人公、暮らし優先の市政を

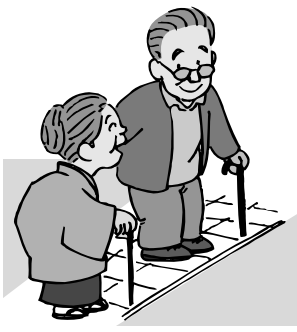
問 ①憲法、地方自治法の尊重、清潔公正な市政運営を。②福祉切り捨てしないと約束を。③夕張市の1人当たり借金は狛江市の14倍。夕張になるというのは実態無視の発言。

答 ①当然のことと考える。②市民ニーズをベースに限られた財源をバランスよく充当する。③象徴的な話として財政規律の希薄さが続けば狛江市の未来はないという意味。

信号機設置、歩道の拡幅など水道道路の安全対策を

問 水道道路は歩道が狭く死亡事故も多い。①みずほ幼稚園とこまえ苑の間の交差点や消防団第三分団のところに信号機設置を。②沿線住民の理解を得ながら歩道の拡幅整備を。

答 ①調布警察署に引き続き交通安全対策の実現に向けて要請する。②地権者の要請に対して調整しながらやっていく。



水道道路のバスの二子玉川への延伸など交通利便改善を

問 日本共産党市議団の市政アンケートでは南部地域の交通利便改善要望が多く出されている。①水道道路のバスを二子玉川まで延伸を。②和泉多摩川郵便局前にバス停設置を。

答 ①こまバスの今後のあり方を検討する中で、路線バスの機能強化についても検討していきたい。②路線バスの運行のあり方を検討する中で考えていきたい。

岡村しん

公約どおり放射能対策の推進、脱原発を目指す首長会議への参加を

問 ①脱原発の立場に立つか。②公約で放射能対策を強化するとのことだがどう強化するのか。③公共施設や給食食材の測定を。④公約どおり脱原発を目指す首長会議へ参加を。

答 ①検討の上、脱原発の立場に立ちたい②走行サーベイの測定に積極的に協力③必要に応じ対応。給食は東京都で実施する検査に参加する④議会の同意を得てその上で参加したい。

(仮称)ニトリ狛江ショッピングセンターについて(その4)

問 ①事業意見書の特徴は。②交通量調査で渋滞率も調べてほしいがどうか。③計画について決定ではないとの認識でよいか。④営業時間短縮の要望に対する市の見解は。

答 ①営業時間の短縮、周辺への交通の影響、建物規模の縮小等調整が必要な部分は限定的と推測②事業者の調査内容の確認が必要③決定ではない④今後の調整会の動きを注視。

宮坂良子

高齢者福祉の充実を～利用しやすい介護保険、充実の特養ホームに

問 ①介護保険、必要性からではなく、幾ら払えるかでサービスが決まってしまう。どのように考えるか。②利用料の軽減を。③国庫負担引き上げを。④低所得者も入れる特養に。

答 ①必要なサービスを受けられる体制づくりが必要②財政事情も踏まえ慎重に議論すべき③市長会を通じて要望④運営法人の選定に制度を活用するように条件をつけている。

「音楽の街」「絵手紙発祥の地」狛江の文化・魅力さらに広げて

問 ①音楽・絵手紙を通して市民協働で魅力あるまちづくりを進めてきた。市の認識は②構想推進委員会の再開を③絵手紙発祥の地の経緯は④白紙に戻すことなく充実・発展を。

答 ①市民を中心に事業が進められてきた。②市のかかわり方を整理し再開。③昭和56年に狛江郵便局で、日本初の絵手紙教室開催後、全国に広がったため。④今後も事業は推進。

西村あつ子

中和泉一丁目の都市計画道路3・4・4号線の早急な安全対策を

問 前回、信号機の設置等の安全対策や関係機関との調整を進めること等を求めた。交通量調査の再調査も求めたが、その後の検討結果は。

答 補正予算で、交通量調査を実施していく。

特別支援教育を後退させることなく、さらによい教育環境の整備を

問 ①特別支援教室モデル事業での小集団活動の保障は。②子供の実情に沿い、きめ細かな対応を。③教室設置は落ちついた教育環境整備のための予算確保を。

答 ①実施には柔軟な対応を図る②さまざまな状況を考慮し体制等をつくる③安心して落ちついた環境で児童が巡回指導を受けられるよう配慮するとともに学校側と慎重に検討。

子供の育ちを保障する公立保育園を存続し、さらなる充実を

問 ①根川学童の今後の運営②市長公約である幼稚園等の保護者負担軽減の実施を③公立保育園の民営化検討の進め方④公立保育園を充実し保護者の声を聞いていただきたい。

答 ①放課後児童受け入れの貴重な施設と考える②25年度当初予算の中で検討③定員管理や施設の改修計画なども踏まえ考え方を整理④質の高い保育水準のために方策を考える。

田中智子

和泉多摩川緑地の都立公園化を目指して

問 ①高橋市長就任以来の取り組み。②今後都の関係局との協議をどう進めていくのか。③整備計画の策定の時期は。④市民の意見聴取をするべきと考えるが。

答 ①水道局と現地確認し都と協議進める。土地利用現況調査を補正予算に計上。②これまでの経験生かし事業を推進。③25年度以降方向性まとめる。④反映していきたい。